

---

 記 事
 

---

## 例会記録

日本医史学会 3月例会 平成25年3月23日(土)  
 順天堂大学医学部センチュリータワー16階北フロア

- |               |      |
|---------------|------|
| 1. 八丈島の疱瘡史    | 對馬秀子 |
| 2. 香月牛山の墓跡と著述 | 小曾戸洋 |

日本医史学会 4月例会

シンポジウム “聞き取りについて”  
 平成25年4月27日(土)  
 順天堂大学医学部センチュリータワー16階北フロア

- |             |      |
|-------------|------|
| 1. 聞き取りあれこれ | 岡田靖雄 |
|-------------|------|

- |               |      |
|---------------|------|
| 2. 方法としての聞き取り | 橋本 明 |
| 3. 聞きとりの効用    | 中村 治 |

日本医史学会 6月例会 平成25年6月22日(土)  
 順天堂大学医学部センチュリータワー16階北フロア

- |                                    |      |
|------------------------------------|------|
| 1. 16世紀における physiologia と anatomia | 澤井 直 |
| 2. 陶烈と日本医学界                        | 藤田梨那 |

## 例会抄録

## 大正11年制定, 昭和2年施行の 健康保険法についての一考察

——関東大震災と医療体制史を含めて——

渡部 幹夫

日本の健康保険法の制定は大正11年(1922)、施行は昭和2年(1927)である。制定から施行に5年を必要としたことについて、所轄官庁史や研究者も大正12年(1923)に発生した関東大震災による、財政問題と社会の混乱としている。また日本の健康保険法が、ドイツの医療保険制度を参考として作られているが、団体自由選択主義という、日本独特な仕組みを作ったことの政治・社会制度史としての史的研究もされている。健康保険制度の施行遅延と関東大震災が短絡的に結び付けられている通説がただしいのかを検討してみた。

資料として読売新聞のデータベース「ヨミダス

歴史館」と「医政」(日本医師会雑誌の継続前誌)及び「日本医学会総会記録」を用いた。

ヨミダス歴史館にて【健康保険法】と【関東大震災】をキーワードとして検索すると2語を含む記事は全くない。

【関東大震災】は発生した1923年3,345件から、1927年124件と激減している。10年間では5,469件であった。関東大震災記事のうちから毎年の年始・9月1日・年末記事を読むことにより、震災の影響と社会の変化を見てみた。震災以前から日本の政治は不安定であり、震災後も短命内閣が続いていたが、震災復興も復興院による計画は頓挫